



Ideas & Chemistry

2012.5.8

2011年度決算 補足資料



東洋紡績株式会社



決算のポイント

11年度実績

液晶関連の環境悪化により、営業利益減も、当期利益は微増

- ▶ 液晶向けは、為替の影響および競争激化で、単価下落。
フィルム全般で、減産実施
- ▶ 原燃料、為替、タイ洪水が、自動車向け他へ影響
- ▶ 環境、ライフサイエンス堅調。ポートフォリオ改革の効果進展

12年度予想

- 設備稼働の回復、ポートフォリオ改革の効果を見込み、
営業利益240億円を予想（うち、減価償却方法変更影響分 40億円）

(億円)

	10年度			11年度			12年度
	上期	下期		上期	下期		(予想)
売上高	1,697	1,708	3,406	1,781	1,714	3,495	3,650
営業利益	109	99	209	110	73	183	240

I . 2011年度決算概況

(1) 決算概要

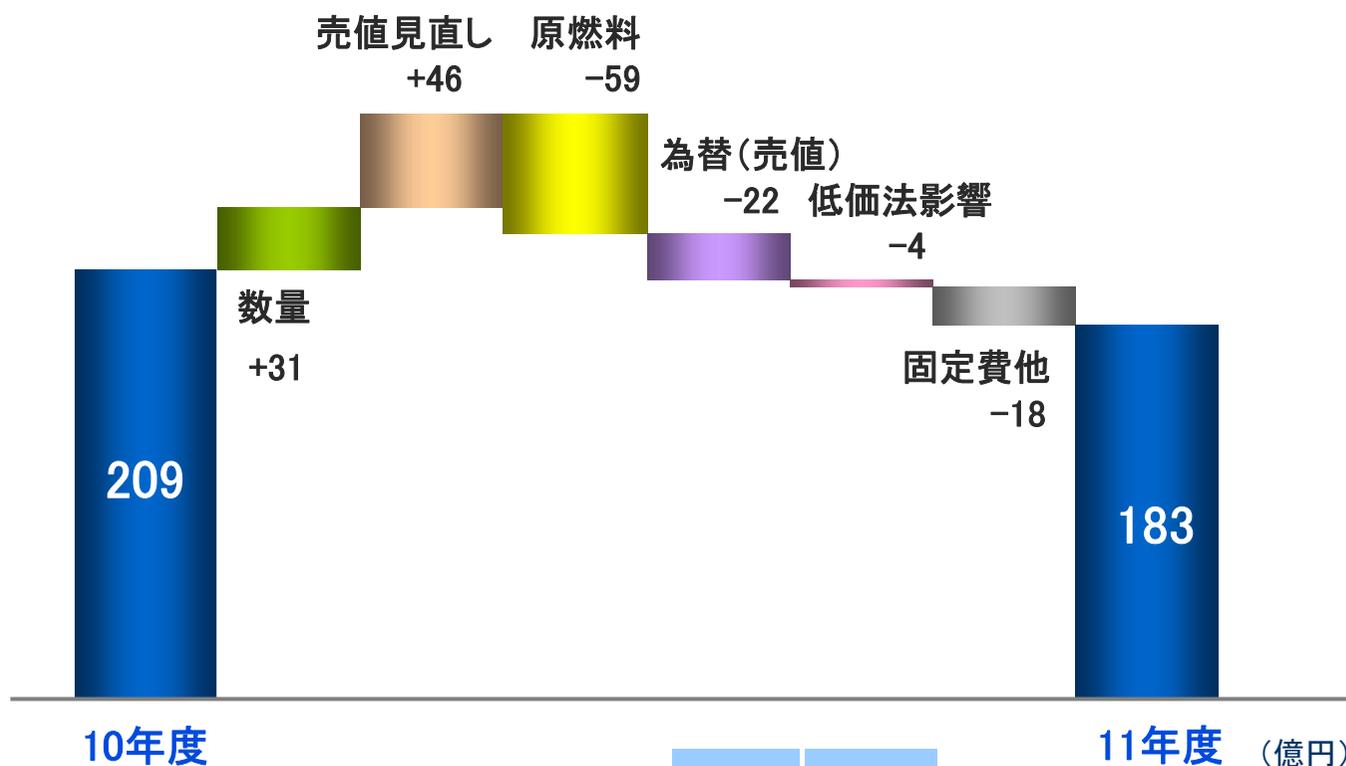
	10年度	11年度			増 減		直近見通し (2012/2)
		上期	下期		金額	%	
売上高	3,406	1,781	1,714	3,495	+89	+2.6%	3,500
営業利益	209	110	73	183	-26	-12.4%	200
(営業利益率)	6.1%	6.2%	4.2%	5.2%	-	-	5.7%
経常利益	170	101	56	157	-13	-7.7%	170
当期純利益	42	52	-6	46	+4	+10.4%	65
EPS(円)	5.49	-	-	5.17	-	-	
減価償却費	191	95	100	195	+4	+1.9%	
設備投資	139	72	93	165	+26	+18.6%	
営業CF	337	96	46	142	-195	-57.9%	
為替レート(円/US\$)	85	80	78	79			
国産ナフサ価格(千円/KL)	48	57	53	55			

(2) 財務指標

	(億円)			(参考)
	11/3末	12/3末	増減	11/12末
総資産	4,435	4,378	-57	
うち棚卸資産	660	776	+116	822
純資産	1,498	1,477	-20	
自己資本	1,258	1,306	+48	
(自己資本比率)	28.4%	29.8%	-	
有利子負債	1,518	1,549	+31	
D/E レシオ	1.21	1.19	-	
(営業利益ROA)	4.7%	4.2%		

(3) 営業利益増減要因分析

【10年度→11年度】



	10	11
円レート (¥/\$)	85	79
国産ナフサ (千円/kl)	48	55

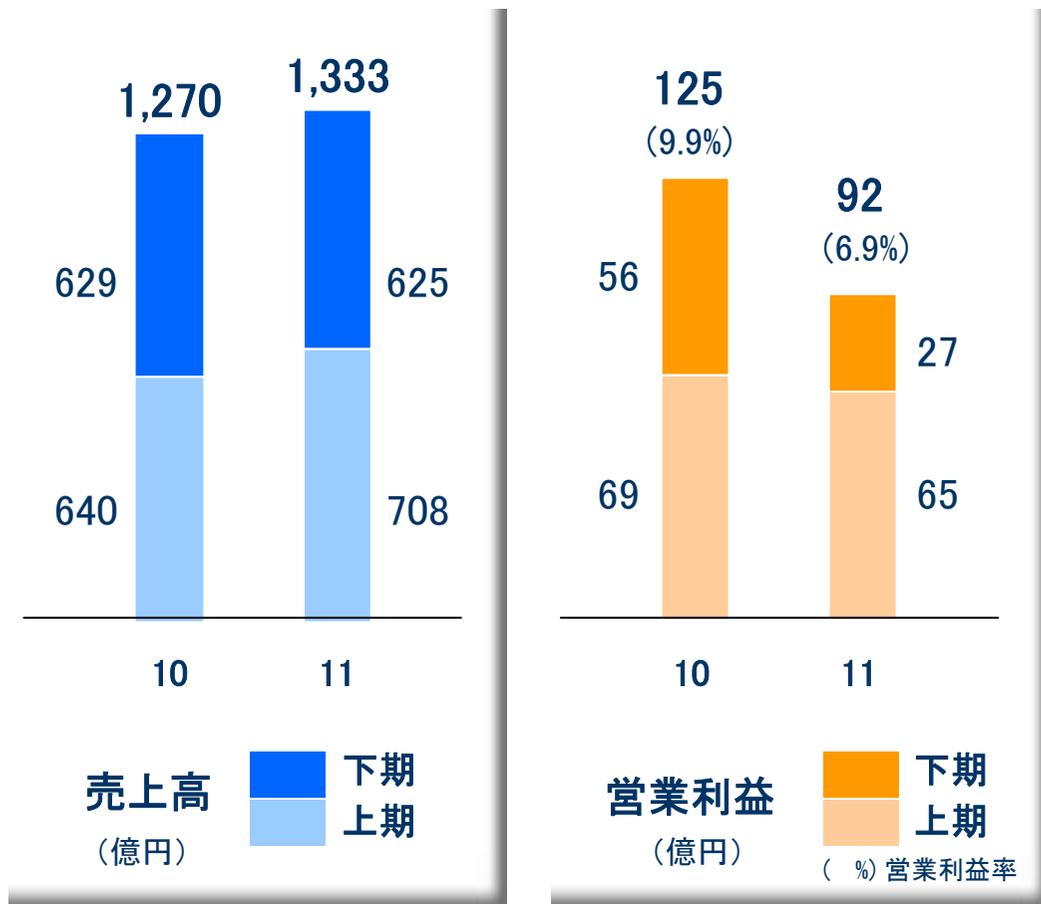
(4) セグメント別

(億円)

	売上高				営業利益				直近見通し (2012/2)
	10年度	11年度		10年度	11年度				
		上期	下期		上期	下期			
フィルム・機能樹脂	1,270	708	625	1,333	125	65	27	92	107
産業マテリアル	715	343	369	712	49	24	29	53	53
ライフサイエンス	314	156	161	317	37	16	19	35	35
スペシャルティ計 (営業利益率)	2,298	1,207	1,155	2,362	212 9.2%	105 8.7%	75 6.5%	180 7.6%	195
衣料繊維	868	442	438	880	6	9	2	11	10
不動産・その他	239	132	121	253	23	11	13	25	25
消去・全社	-	-	-	-	-32	-15	-18	-33	-30
合計	3,406	1,781	1,714	3,495	209	110	73	183	200

(5)セグメント別 ①フィルム・機能樹脂

工業用フィルム苦戦。液晶市場の悪化継続で、減産実施
自動車関連は震災、タイ洪水影響受けるも足元の数量回復



● 工業用フィルム

- ・液晶向け減産実施、在庫調整
- ・セラコン工程用コート設備新設

● 包装用フィルム

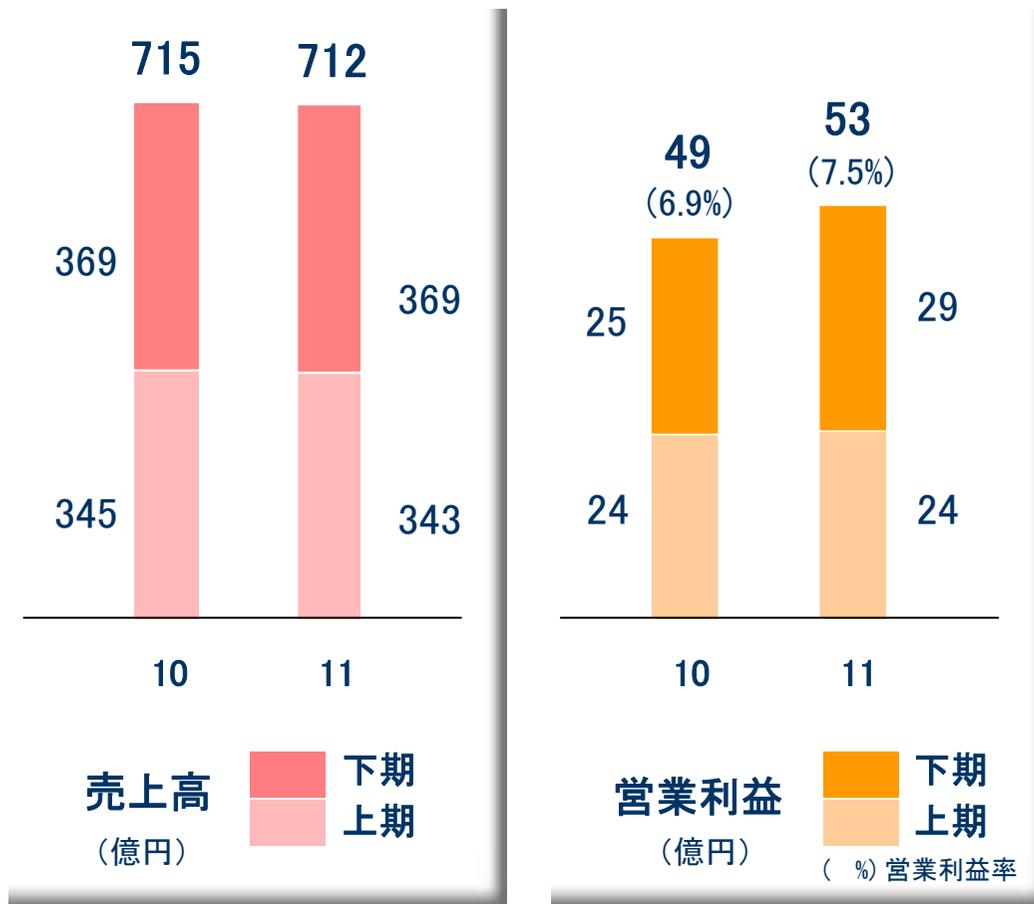
- ・上期堅調も、下期ユーザーの需給調整あり苦戦
- ・シュリンクフィルムは新製品貢献

● 機能樹脂

- ・「バイロン[®]」は海外売上拡大
タイでの生産決定
- ・エンプラは自動車向け数量回復

② 産業マテリアル

機能フィルターなどの環境関連、生活・安全分野が堅調
エアバッグ、スパンボンドなどの自動車関連も数量回復



● 機能フィルター

- ・ 事務機器、空調用フィルター堅調
- ・ VOC^{*}処理装置は中・韓の案件延期
* 揮発性有機溶剤

● スーパー繊維

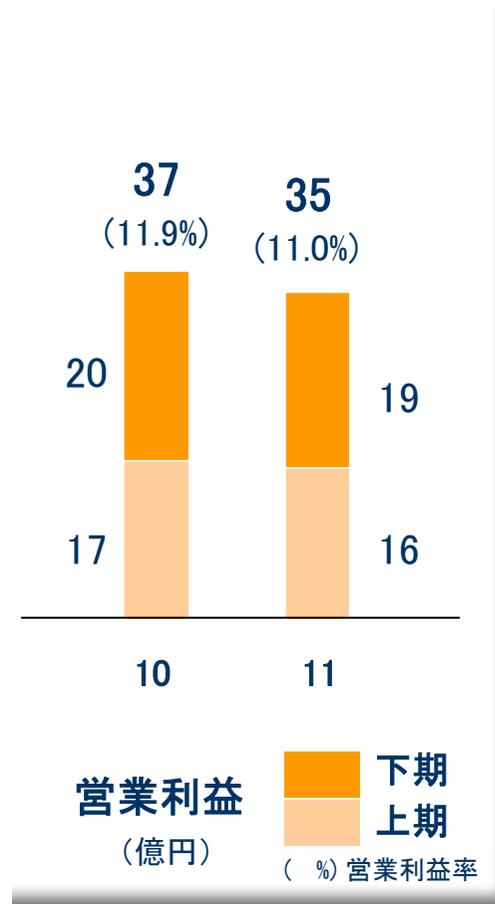
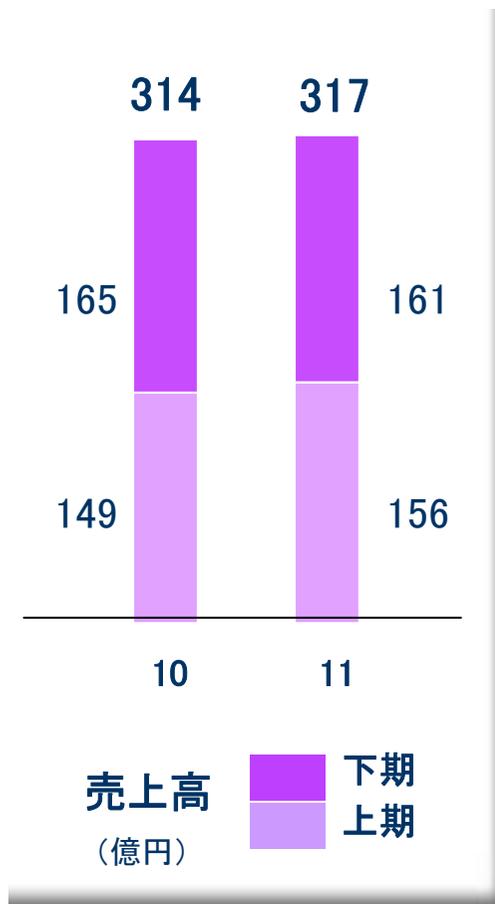
- ・ 「ダイニーマ[®]」は景気回復遅れで数量減
- ・ 「サイロン[®]」は耐熱フェルト用途が好調

● 自動車関連

- ・ エアバッグは震災影響大も2Qより回復
- ・ タイヤコードはユーザーのタイ洪水被災、
為替の影響により苦戦

③ ライフサイエンス

為替影響あるも診断薬用酵素は順調に拡大
医薬品製造受託、機能膜なども需要堅調



● 診断薬用酵素

- ・ 血糖モニター用酵素海外好調

● 医用膜

- ・ 海外市場堅調

● アクア膜

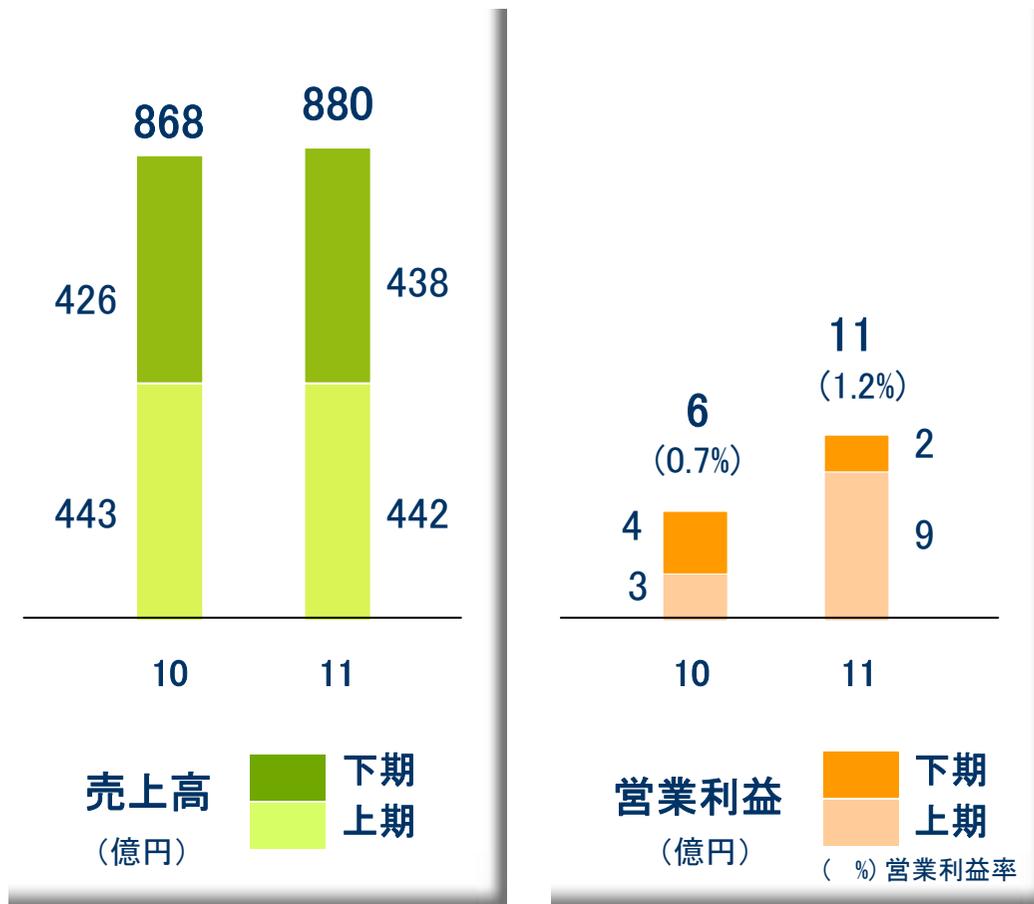
- ・ 新規案件への出荷開始、為替影響大

● 合成薬中間体

- ・ 数量減で苦戦

④ 衣料繊維

インナー、スポーツでの機能衣料取組み拡大
羊毛事業の構造改革効果



● 東洋紡STC (繊維)

- ・ インナー・スポーツ向け機能素材堅調
- ・ トーブは数量堅調も為替で苦戦

● 羊毛事業

- ・ 生産拠点の統合

● アクリル繊維

- ・ 特化素材堅調

Ⅱ . 2012年度予想

(1) 業績予想

1Qより、設備稼働回復。
 加えて、ポートフォリオ改革と新設備稼働の効果

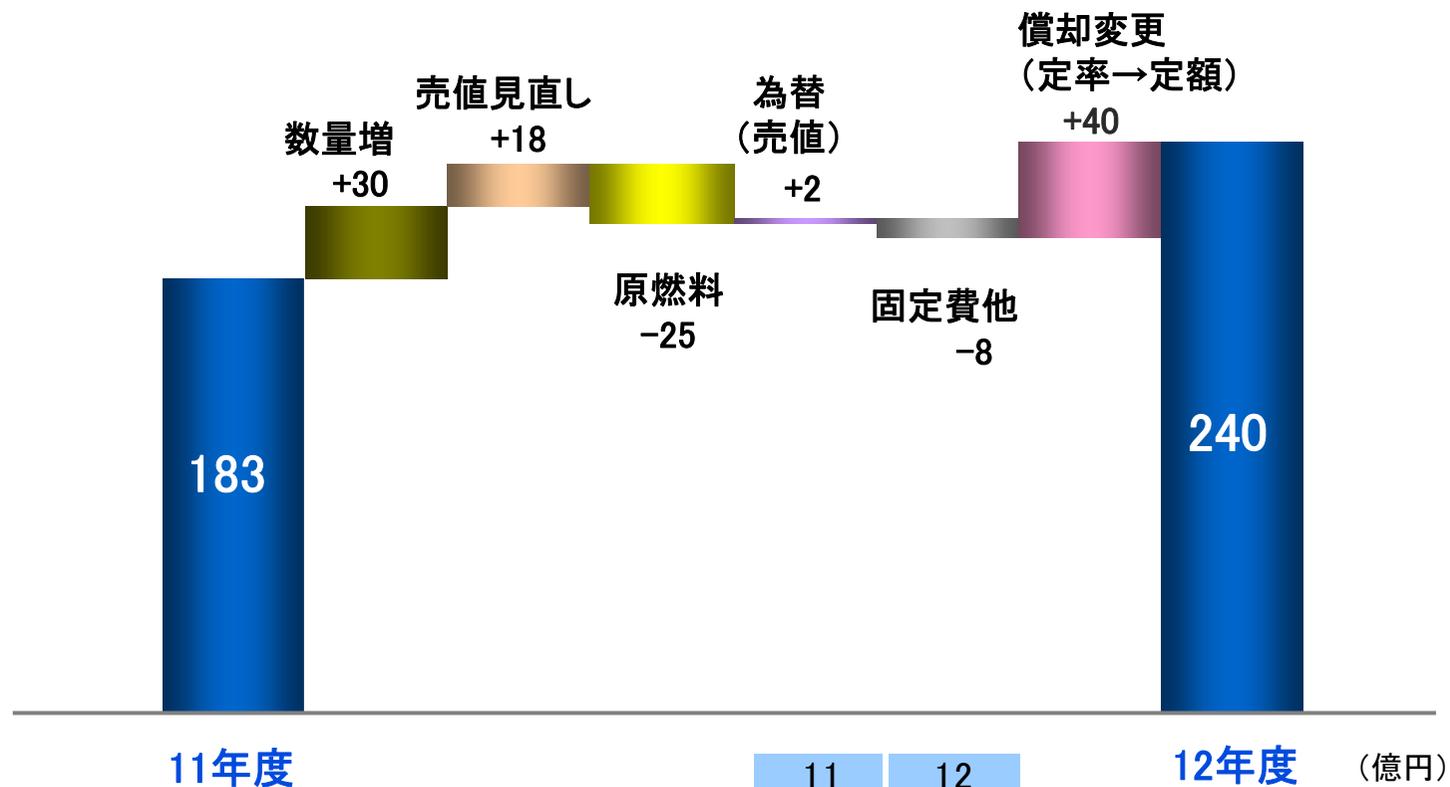
(億円)

	11年度実績	12年度予想	増減	
			金額	%
売上高	3,495	3,650	+155	+4.4%
営業利益	183	240 *	+57	+31.1%
(営業利益率)	5.2%	6.6%	-	-
経常利益	157	210	+53	+33.5%
当期純利益	46	100	+54	+118.0%
EPS(円)	5.17	11.28	-	-
減価償却費	195	155	-40	-
設備投資	165	200	+35	-
為替レート(円/US\$)	79	80		
国産ナフサ価格(千円/KL)	55	60		

* 減価償却方法変更影響分 40億円

(2) 営業利益増減要因分析 (予想)

【11年度→12年度】



	11	12
円レート (¥/\$)	79	80
国産ナフサ (千円/kl)	55	60

(3) セグメント別内訳 (予想)

(億円)

	売上高		営業利益	
	11年度	12年度	11年度	12年度
フィルム・機能樹脂	1,333	1,400	92	125
産業マテリアル	712	800	53	67
ライフサイエンス	317	330	35	43
スペシャルティ計	2,362	2,530	180	235
(営業利益率)			7.6%	9.3%
衣料繊維	880	860	11	13
不動産・その他	253	260	25	25
消去・全社	-	-	-33	-33
合計	3,495	3,650	183	240

本資料取扱い上のご注意

本資料中の見通しや目標等、将来に関する記載事項は、本資料作成時点において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績等は、今後の種々の要因によって、本資料の記載事項と異なる場合がありますことをご了承ください。

東洋紡績株式会社

All Rights Reserved

